

## 平成26年全国町村長大会 来賓挨拶

みなさんこんにちは。安倍晋三でございます。

全国町村長大会開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

町村長の皆様方におかれましては、日頃から地方自治の第一線に立ち、先頭に立って地域社会の発展や住民自治の向上に、日夜、尽力しておられますことを、心から御礼を申し上げ、敬意を表する次第でございます。

昨年も申し上げましたが、町村長大会にまいりますと、私のバックグラウンドに帰ってきたような思いがするわけです。私の選挙区は、今や市町村合併により2市となりましたが、小選挙区になった当初は2市7町と、7つの町がありました。私の町は日本海に面した油谷町という小さな町ではありますが、美しい棚田があり、日本海に面し、素晴らしい故郷であります。平成8年、私がまだ2回目となる厳しい選挙の際に、街宣車で回っているときに、1の方が農作業の手を休めて私のところにやってきて、農作業でごつごつした手で私の手をしっかりと握って、「晋三さん、応援しとるけん。ふるさとを守っておくれよ」と話されました。私はこの言葉を今でもしっかりと胸に刻んでおります。まさに私は、町村の皆さんに国会に送っていただいた、その思いで、地域創生こそ私の使命であると、このように決意をしている次第であります。

元気で豊かな地方の創生は、安倍内閣の最重要課題であります。今後、長期ビジョン及び総合戦略を取りまとめることとしておりますが、知恵は現場にあります。創意工夫をこらして成果をあげている自治体や、困難な状況を打開しようと努力している現場に、私どもがどンドン足を運び、地方の声に徹底して耳を傾けていきます。国主導のやり方ではなく、地域の発想や創意工夫をいかし、個性と魅力あふれる取り組みを国がしっかりと後押しをしていきます。その際、各省の縦割りを廃し、ワンストップで支援する、地域にとって本当に使い勝手のよい仕組みを構築していきます。また、地方への権限・財源の移譲促進など、地方分権改革についても力強く着実に進めていきます。今年度、提案募集方式により、地方から多種多様な提案を数多くいただきました。これまで困難とされてきた課題についても、前向きに取り組んでいるところであります。

11月17日に発表された7月、8月、9月のGDP速報は厳しい数字でありました。成長軌道には戻っていない、そうしたことを総合的に勘案して、私は11月18日に消費税引き上げを来年10月に法定通り行わず、18か月、1年半延期することを決定したところであります。今まさに、私たちはデフレから脱却をしていく、その正念場を迎えております。デフレから脱却をしなければ、経済を成長させていくことは出来ません。そして同時に増収を増やすことも出来ないわけでありまして、増収が増えていかなければ、地方の再生もおぼつきません。

今、私どもが進めている、いわゆるアベノミクスと呼ばれる経済政策は、着実に成果を挙げております。経済において、どの国でも重視する指標は雇用と賃金ですが、政権に就いてから2年の間、就業者の数は100万人以上増えていきますし、有効求人倍率も

依然22年ぶりの高い水準にあります。賃金においても今年4月の連合の調査によると、平均2.5%以上の成長となっており、これは、この10年間で最高の数字となっています。また、今年の4月新卒の大学生、高校生とも就職内定率は上がっていますし、高校生においては、1割以上内定率が上がっております。

このように私たちが進めている政策は間違いなく成果を挙げております。しかし、本年4月の消費税の3%引き上げが、消費を2%押し下げる重しとなってしまいました。この重しがとれていないうちに、来年、消費税を再度上げることは出来ない、そう判断したところであります。そして平成29年4月には、間違いなく消費税を上げていきますし、上げていく環境を作っていきます。来年、再来年と賃金を確実に上げていけば、その環境を作り上げることが出来る、こう確信をしているところであります。

そして、税制というのは、まさに議会制民主主義とともに発展してきたわけであり、この税制において重大な決断をした以上、私は国民に真を問わなければならないと決断したところであります。11月18日に私が出演したテレビにおいて、キャスターの方が、「安倍さん、大義がないじゃないですか」と言いながら、その後「18か月延期するというのは、自民党のマニフェストに書いてないじゃないですか。国民に説明すべきです」とも言われましたので、「だから選挙をするんですよ」と申し上げたわけであります。

税において、私たちは、約束したことは行わなければならない。選挙を経て国民の信を得た後に、実施していかなければならない。これが私どもの信念でもあるわけです。選挙においてしっかりと説明をし、そして勝ち抜いて、今進めている政策を前に進めていくことによって、地域を豊かにしていきたい。私たちの今進めている政策が、全国津々浦々に広がっていくようにしていきたい、このように思っております。

私たちが進めているアベノミクスにおける三本の矢の政策についても、様々なご負担があることは事実であります。ではどうすればいいのか。残念ながら、私は他のアイデアを聞いたことはただの一度もありません。だからこそ、今進めている経済政策が果たして正しいのか間違っているのか、本当に他に選択肢があるのかどうかを、この選挙戦を通じて明らかにしていきたい。そして国民の皆様の声を伺っていきたくと決意している次第であります。

いずれにいたしましても、私たちがこれからしっかりと進めていくことは、地方での創生であります。地域に住んでいる皆さんが、そして子ども達が、その地域に夢や未来を託せる、そういう地域を必ず作り上げてまいります。皆様と共に、全力を尽くしていくことをお誓い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成26年11月19日  
内閣総理大臣  
安倍晋三